

沿革

明治 11 年(1878)	11 月	郡区町村編制法が実施され、橘樹郡をおいて江戸時代からの村名が復活する。
明治 22 年(1889)	4 月	市制・町村制が施行され、中原村、住吉村、御幸村…が誕生する。
明治 27 年(1894)	2 月	勅令で消防組規則が発布される。
	12 月	川崎町に川崎消防組が生まれる。
明治 30 年(1897)	12 月	県令で消防組規則施行細則が公布される。
大正 10 年(1921)		多摩川砂利鉄道(現南武線)出来る。
大正 12 年(1923)	9 月	1 日午前 11 時 58 分 関東大震災発生する。
大正 13 年(1924)	7 月	川崎市誕生する。(川崎町、大師町、御幸村の合併により)
大正 14 年(1925)	4 月	中原町誕生する。(中原村と住吉村の一部の合併により)
	9 月	中原消防組 編成される。定員 638 名 初代組頭 鹿島育久
大正 15 年(1926)	2 月	東横線 開通する。
昭和 4 年(1929)	1 月	組頭 鹿島育久 退任。徳植武勝 組頭となる。
昭和 5 年(1930)	1 月	組頭 徳植武勝 勇退。石井弥吉 組頭となる。
昭和 7 年(1932)	11 月	川崎市に防護団結成される。
昭和 8 年(1933)	8 月	中原町が川崎市に編入され、中原消防組は 川崎第五消防組 となる。定員 101 名 初代組頭 石井弥吉 北を一部、南を二部と編成なる。
昭和 10 年(1935)	4 月	消防ポンプ車レオ(クライスラー製)が配車され、車庫を小杉御殿町に設置 組頭 石井弥吉 勇退。市川 郁 組頭となる。
昭和 12 年(1937)	7 月	日支事変起る。
昭和 14 年(1939)	4 月	この年、二部(住吉)へ、消防ポンプ車ダッヂ配車される。車庫を木月に設置 勅令で警防団令公布される。消防組と防護団の一元化。川崎第五消防組は 川崎第五警防団 となる。定員 不詳 初代団長 市川 郁
昭和 15 年(1940)	2 月	第一分団(旧一部)、第二分団(旧二部)、第三分団(日吉地区)の編成となる。 特設消防署規程の改正により川崎全域が官設消防警戒区域となり、神奈川県 川崎消防署中原出張所が出来る。(小杉御殿町 2-100 川崎警察署中原警部派 出所内に、消防車一台、消防官 4 名にて発足) 現在の消防署のはじまり。
昭和 16 年(1941)	12 月	第二次大戦へ突入する。
昭和 17 年(1942)	4 月	川崎市初空襲される。 (ノースアメリカン B 16)
	7 月	中原出張所 小杉 3-26(前中原消防署)に移転する。
	12 月	中原警察署が設置され、この管内の玉川地区警防団を併せて、 中原警防団 となる。基幹団員 714 名 普通団員 650 名 初代団長 市川 郁 第一分団(中原地区)、第二分団(住吉地区)、第三分団(日吉地区)、 第四分団(大戸地区)、第五分団(玉川地区)の 5 分団編成となる。
昭和 18 年(1943)	12 月	中原出張所、中原消防署となる。初代署長 富田伸利氏就任 本署 署長以下 39 名 消防車 3 台
昭和 20 年(1945)	4 月	15 日に川崎、大空襲をうける。
	5 月	25 日 第三分団(木月班)石井登久治班長、防空消防に殉ず。
	8 月	15 日終戦
昭和 21 年(1946)	3 月	日本消防協会会長表彰 竿頭綬受賞(昭和 20 年度)
昭和 22 年(1947)	4 月	消防団令公布される。
	7 月	中原消防署 2 代署長 三村三九造氏就任(署長心得事務代行)
	8 月	中原消防署 3 代署長 土志田徳次郎氏就任

沿革

昭和 22 年(1947)	10 月	中原消防団発足 定員 345 名 団長 市川 郁、副団長 田辺 宜、小泉忠右エ門、庶務部長 原 安造 中原分団 西村義正分団長以下 49 名、住吉分団 田辺又吉分団長以下 71 名 日吉分団 新堀直蔵分団長以下 61 名、大戸分団 市川信一分団長以下 54 名 玉川分団 小宮隆太郎分団長以下 55 名、丸子分団 白井棟吉分団長以下 51 名 12 月 消防組織法公布される。
昭和 23 年(1948)	1 月	川崎市消防団員給与条例成る。出務手当 火災訓練共 1 回 100 円
	2 月	中原消防署 4 代署長 本郷喜助氏就任
	3 月	消防組織法施行される。明治の初、消防制度が発足してより警察の指揮下に置かれた消防が、地方自治体の消防として新たに出発する。
	7 月	中原消防署 5 代署長 羽山容夫氏就任 (署長心得事務代行)
	8 月	中原消防署 6 代署長 三村三九造氏就任
	11 月	川崎市消防団任免条例成る。
昭和 25 年(1950)	3 月	中原消防署 7 代署長 平野昇三氏就任
	4 月	川崎市消防団員の服装並びに消防団旗制式規程成る。 川崎市消防団員被服貸与規則成る。
昭和 26 年(1951)	3 月	日本消防協会会長表彰 竿頭綬受賞(昭和 25 年度)
昭和 27 年(1952)	7 月	消防団員公務災害補償条例成る。
昭和 28 年(1953)	11 月	川崎市消防団員任免条例成る。
昭和 30 年(1955)	10 月	第 5 回神奈川県消防操法大会 (於:平塚崇善小学校) 住吉分団がポンプ車 7 名操法で出場。 指揮者 和田平作
昭和 33 年(1958)	10 月	第 8 回神奈川県消防操法大会 (於:上溝小学校) 大戸分団がポンプ車 7 名操法で出場。 指揮者 小島鎌吉
昭和 35 年(1960)	1 月	この年市長 15 年勤続表彰制定される。
	9 月	川崎市消防団の設置等に関する規則成る。
昭和 36 年(1961)	1 月	この年より優良団員団長表彰制定される。
	3 月	日本消防協会会長表彰 表彰旗受賞(昭和 35 年度)
	3 月	川崎市消防団員等公務災害補償条例成る。
	4 月	中原消防署庁舎改築 (鉄筋コンクリート 2 階建・望楼付)
	5 月	中原消防署 8 代署長 土屋光正氏就任
昭和 38 年(1963)	8 月	川崎市消防団の設置及び定員等に関する条例成る。
	10 月	第 13 回神奈川県消防操法大会 (於:江ノ島片瀬海岸駐車場) 中原分団がポンプ車 7 名操法で出場。 指揮者 鈴木金蔵
	10 月	川崎市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則成る。
昭和 39 年(1964)	4 月	川崎市消防団員退職報償金支給条例成る。
	4 月	中原消防署 9 代署長 小林光久氏就任
昭和 40 年(1965)	1 月	この年より神奈川県知事表彰 20 年勤続功労章制定される。
昭和 41 年(1966)	7 月	中原消防署 10 代署長 小野 實氏就任
昭和 42 年(1967)	4 月	中原消防署 11 代署長 鈴木清一氏就任
	4 月	消防団運営交付金支給される。42 年度団交付金 1 名当り 1,000 円の割合となる
	8 月	神奈川県知事津田文吾氏より全団員に対し、防火帽(ヘルメット)の贈呈ある。
昭和 43 年(1968)	4 月	生存者叙勲第 1 回行われ、中原分団 原省作分団長が叙勲を受ける。



沿革

昭和 44 年(1969)	9月	団長 市川 郁氏死去(70才) 市川 郁氏関係団体合同葬儀挙行
	11月	2代団長に 田辺 直が任命される。
昭和 45 年(1970)	5月	中原消防団共助会発足
	10月	第1回中原消防団操法大会(於:等々力催し物広場)
	12月	中原消防署 12代署長 丸山常八氏就任
	12月	大戸分団、住吉分団、丸子分団のポンプ車の代替に小型ポンプ積載車が配置
昭和 46 年(1971)	6月	非常参集計画樹立
	6月	玉川分団に小型ポンプ積載車が配置
	12月	中原分団小杉班に小型ポンプ積載車が配置
昭和 47 年(1972)	4月	川崎市 政令指定都市となる。
		区制が施行され日吉分団管轄区域が幸区となり、藤田清作分団長以下 60名は幸消防団へ編入される。中原消防団定員 285名となる。
	8月	団員証 交付される。
	8月	第22回神奈川県消防操法大会(於:県消防学校)
		丸子分団が小型ポンプ5名操法で出場。 指揮者 石原 肇
昭和 48 年(1973)	10月	中原分団宮内班に小型ポンプ積載車が配置
	10月	中原消防署 13代署長 川邊清吉氏就任
	11月	自治体消防 25周年記念大会(於:日本武道館)
昭和 49 年(1974)	1月	この年より消防出初式を等々力催し物広場で開催できるようになる。
	10月	第1回中原消防団消防大会(第4回中原消防団操法大会)
		この年より小型ポンプ操法以外に一般競技を行う。
昭和 50 年(1975)	7月	大地震警備対策に基づき非常参集訓練 午前4時~6時
	11月	3代団長に 金子治郎が任命される。
昭和 51 年(1976)	7月	消防団員手帳規則制定される。
昭和 52 年(1977)	5月	住吉分団木月班器具置場 新築落成(住吉小学校敷地内へ移転)
	11月	4代団長に 原 省作が任命される。
昭和 54 年(1979)	1月	出初式において、この年より団長表彰、家族協力者表彰が行われる。
	8月	第29回神奈川県消防操法大会(於:県消防学校)
		玉川分団が小型ポンプ操法(4名)で優秀賞。 指揮者 山川忠行
	12月	中原消防署 14代署長 伊藤十一良氏就任
昭和 55 年(1980)	5月	中原分団小杉班器具置場 新築落成(小杉神社横へ移転)
	6月	玉川分団器具置場 旧玉川出張所を改築し移転
	9月	第9回中原消防団消防大会 この年より統一名称の大会となる。
	11月	冬制服新制式となる。 昭和57年度までに全団員に支給予定。
	11月	消防百年記念大会(於:後楽園球場)
	12月	5代団長に 小島鎌吉が任命される。
	12月	玉川分団下沼部班に小型ポンプ積載車が配置される。
昭和 56 年(1981)	3月	日本消防協会会長表彰 竿頭綬受賞(昭和55年度)
	4月	大戸分団下小田中班器具置場 新築落成(中原土木事務所隣へ移転)
	5月	中原消防団 内規が出来る。
	8月	住吉分団市ノ坪班小型ポンプ更新
昭和 58 年(1983)	1月	中原消防署 15代署長 加藤幸郎氏就任
	4月	住吉分団市ノ坪班器具置場 新築落成



区政施行記念章
中原消防団



操法参加章

沿革

昭和 58 年(1983)	11 月	6 代団長に 矢作富二雄が任命される。
	11 月	自治体消防 35 周年記念大会 (於:日本武道館) 矢作団長以下 9 名参加
昭和 59 年(1984)	4 月	第 1 回新入団員教養研修 (於:自治会館) 対象 57. 1. 1~59. 3. 30 参加者 35 名
	7 月	住吉分団市ノ坪班器具置場へ小型ポンプ積載車配置
	10 月	第 6 回中原区民祭に消防団コーナーを設置 (於:中原平和公園)
	10 月	中原消防団として、小型ポンプ操法指導書を作成
	10 月	婦人消防隊の結成
昭和 60 年(1985)	4 月	中原消防署 16 代署長 関和啓三氏就任
	4 月	精勤章の山型のモールが改正になり襟にバッヂとなる。 5 年以上・銅バッヂ、10 年以上・銀バッヂ、20 年以上・金バッヂ
	7 月	夏の制帽貸与される (従来は冬の制帽にカバーをつけていた)
	8 月	第 14 回中原消防団消防大会 今回より規律・節度の審査を取り入れる。
	10 月	中原消防 60 周年記念式典・祝賀会挙行 (於:ホテル ザ・エルシイ)
	11 月	丸子分団小型ポンプ積載車更新配置
	12 月	中原分団小杉班器具置場増築工事完成
昭和 61 年(1986)	3 月	丸子分団器具置場改築完成 鉄骨造 2 階建
	4 月	7 代団長に 和田平作が任命される。
	4 月	中原消防署 17 代署長 宮田 昇氏就任
	8 月	第 35 回神奈川県消防操法大会 (於:平塚オオミ繭意団跡地) 住吉分団が小型ポンプ操法に出場。 指揮者 伊藤勝敬
	8 月	保安帽(白ヘル)が全団員に災害現場用として支給貸与される。
	10 月	大戸分団、住吉分団小型ポンプ積載車更新配置
昭和 62 年(1987)	4 月	ポンプ性能検査 今回から分団配備の耐震小型ポンプも同時に行う。
	10 月	団長会議の討議の結果、消防局案の第 1 報、第 2 報の出動体制になる。
	10 月	第 6 回川崎市消防団ソフトボール大会 (於:犬藏訓練所) 住吉分団が初優勝
	10 月	署長公舎を記念する会 署併設の公舎の取り壊しが決まり署と団で設営して会食し歴史を偲んだ。
昭和 63 年(1988)	3 月	自治体消防 40 周年記念大会 (於:日本武道館) 和田団長、中田副団長、松原副団長参加
	4 月	中原消防署 18 代署長 関和啓三氏就任
	11 月	中原消防団共助会第 1 回ボウリング大会 (於:タチバナボウル) 和田団長より団体戦優勝カップ寄贈される。
昭和 64 年(1989)	1 月	中原地区消防出初式は天皇陛下が崩御され市長命令により中止となる。
平成 元年(1989)	1 月	大行天皇哀悼式 (於:日消ホール) 関東の消防団長以上と全国の日消幹部ら 500 余名が哀悼の記帳をされ、 皇居に弔問される。和田団長出席
	4 月	8 代団長に 中田 隆が任命される。
	4 月	川崎市消防団長会議にて川崎市消防団正副団長 O B 会設立総会
	5 月	操法指導会 (於:東住吉小学校校庭) 各分団の操法の後、質疑応答行う。
	6 月	中原消防団 O B 会設立発会式 (於:自治会館) 入会者 39 名
	9 月	川崎市消防葬 (於:産業文化会館) 8 月 1 日に高津区蟹ヶ谷で集中豪雨により崖崩れ事故が発生、救助活動中に殉職された消防職員 3 名の合同消防葬が行われ、中原消防団員 75 名参列。



中原消防
60周年記念章

沿革

平成元年(1989)	11月	丸子分団小型ポンプ更新
平成2年(1990)	4月	中原区役所新庁舎竣工披露
	6月	第19回中原消防団消防大会 今大会より中原消防団OB会より総合優勝分団に優勝盾が贈られる。
	7月	礼式用の革製編上靴が貸与される。
	9月	団備品として購入したソフト吸管を各器具置場へ配備した。
平成3年(1991)	1月	平成天皇即位祝賀式及び昭和天皇追悼礼拝(於:日消ホール) 中田団長、松原副団長、加藤副団長出席
	5月	玉川分団下沼部班器具置場落成披露祝賀会(於:玉川会館)
	6月	第20回中原消防団消防大会 実戦応用操法を行う。
	6月	中原地区少年消防クラブ結成式(於:区役所5階会議室)
平成4年(1992)	3月	中原分団宮内班器具置場改築記念祝賀会(於:宮内公民館)
	4月	9代団長に 松原重代が任命される。
	9月	神奈川県方式の操法研修(於:県消防学校)
	12月	玉川分団平間班器具置場改築完成
平成5年(1993)	1月	川崎市消防出初式(於:川崎球場前広場) 川崎市統一出初式が20年振りに復活
	1月	中原地区消防出初式にて中原消防団OB会より大型テント2張寄贈される。
	3月	消防庁長官表彰 竿頭綬受賞(平成4年度)
	11月	自治体消防45周年記念大会(於:東京ドーム)
	12月	玉川分団平間班小型ポンプ積載車更新配置
平成6年(1994)	3月	大会応援用幟旗が中原消防団OB会より寄贈される。
	4月	中原消防署19代署長 根本通正氏就任
	7月	第39回神奈川県消防操法大会(於:横浜訓練校) 大戸分団が小型ポンプ操法の部で優秀賞(準優勝)。 指揮者 田中 実
	9月	市制70周年記念 第1回川崎市消防団操法大会(於:川崎東芝構内) 最優秀賞・大戸分団、優秀賞・住吉分団
平成7年(1995)	1月	17日 阪神・淡路大震災発生 午前5:46 兵庫県淡路島北淡町を震源とする大地震が発生 川崎8消防団より義援金を兵庫県消防協会へ
	4月	10代団長に 石原 肇が任命される。
	6月	第24回中原消防団消防大会 今大会より中原防火協会より総合優勝分団へ賞状をいただく。
	9月	中原分団宮内班小型ポンプ積載車更新配置
	9月	玉川分団下沼部班小型ポンプ積載車更新配置
平成8年(1996)	2月	中原消防団OB会よりチェーンソー8台寄贈される。
	4月	中原消防署20代署長 吉田末男氏就任
	9月	第2回川崎市消防団操法大会(於:新鶴見操車場跡地) 最優秀賞・大戸分団
	10月	女性消防団員発足記念式典(14日 於:ソリッドスクエア) 県内初の女性消防団員45名が任命され、中原消防団は丸子分団に3名入団。
	10月	第18回中原区民祭 今回より場内警備を要請され、午前・午後各35名体制で協力する。
平成9年(1997)	4月	中原分団・住吉分団の耐震ポンプ更新配置



大礼記念章

沿革

- 平成 9 年(1997) 6月 第 26 回中原消防団消防大会
大会で女性団員の活躍が新聞 5 社に掲載、大きく取り上げられる。
- 平成 10 年(1998) 3月 自治体消防制度 50 周年記念式典 (7 日 於:日本武道館)
天皇皇后両陛下御臨席のもと、消防職団員総勢 8,500 名が参加し盛大に開催。
4月 11 代団長に 横山良雄が任命される。
9月 第 3 回川崎市消防団操法大会 (於:三菱ふそうトラック・バス(株))
最優秀賞・大戸分団、市大会三連覇を達成
11月 川崎市自治体消防 50 年記念式 (於:川崎市教育文化会館)
中原消防団 90 名参加
- 平成 11 年(1999) 3月 中原消防ボランティア委員会発会式 (於: J A セレサ川崎 中原支店)
4月 中原消防署 21 代署長 梅津昌正氏就任
11月 住吉分団市ノ坪班小型ポンプ積載車更新配置
12月 31 日特別警戒 (ミレニアム特別警戒・コンピュータ 2000 年問題)
- 平成 12 年(2000) 4月 ポンプ性能検査 (於:等々力催し物広場)
エンジンカッター、チェーンソーを含む各配備品についても行う。
7月 操法研修会 (於:区役所 5 階)
神奈川県方式が全国方式に変更され川崎市大会もそれに準ずるため実施。
- 平成 13 年(2001) 4月 12 代団長に 高巖が任命される
4月 略帽がアポロキャップ型となって貸与される。
9月 丸子分団小型ポンプ積載車更新配置
- 平成 14 年(2002) 4月 中原消防署 22 代署長 渡邊 務氏就任
4月 川崎市消防局総合庁舎新築落成
5月 神奈川県消防協会創立 50 周年記念式典 (於:かながわドームシアター)
7月 第 43 回神奈川県消防操法大会 (於:県消防学校)
中原分団が小型ポンプ操法の部で優秀賞。 指揮者 原 健二
11月 大戸分団、住吉分団小型ポンプ積載車更新配置
- 平成 15 年(2003) 3月 日本消防協会会长表彰 竿頭綬受賞(平成 14 年度)
6月 第 32 回中原消防団消防大会
今回より小隊訓練優秀分団へ中原消防団 O B 会よりカップが贈られる。
11月 自治体消防 55 周年記念大会 (於:東京ドーム)
- 平成 16 年(2004) 3月 消防庁長官表彰 表彰旗受賞 (平成 15 年度)
4月 13 代団長に 内藤雅光が任命される。
4月 中原消防署 23 代署長 原 光男氏就任
5月 遠距離送水訓練実施 (於:等々力催し物広場・午前 5:30~)
総延長 500m、ホース 23 本、小型ポンプ 3 台、要員 46 名で行う。
6月 第 33 回中原消防団消防大会
今回より総合優勝分団へ中原防火協会より優勝杯が贈られる。
9月 第 6 回川崎市消防団操法大会 (於:三菱ふそうトラック・バス(株))
最優秀賞・住吉分団
10月 第 26 回中原区民祭
初めて積載車 1 台を会場に配備、チラシ・グッズを配布し広報活動を行う。
- 平成 17 年(2005) 3月 中原消防 80 周年記念式典・祝賀会 (於:ホテル ザ・エルシイ)
18:00 開会 式典:銀河の間(5 階) 祝賀会:琥珀の間(4 階)
来賓 255 名 団員 130 名 計 385 名が出席し盛大に開催する。

沿革

- 平成 17 年(2005) 5 月 川崎市総合水防訓練
総務局・建設局・中原区役所・自主防災組織(上丸子天神町町会)・中原警察署
中原中学校(避難場所)等 総勢 230 名で初めて大規模な水防訓練を実施
- 6 月 第 34 回中原消防団消防大会
中原消防団マスコット「翔太」を披露する。
- 10 月 第 11 回全国女性消防団員活性化富山大会(5 日～6 日 於:富山市)
(住吉)中山京子団員 参加
- 11 月 消防団員指導員研修(8 日～10 日 於:県消防学校)
(本部)田中 実庶務部長 受講
- 11 月 消防団員指導者講習(12 日 於:県消防学校)
(中原)鳩田敏行班長(大戸)山本靜一班長(住吉)田邊昌美部長
(玉川)齋藤 潔班長(丸子)井上 衛班長 受講
- 11 月 消防団幹部地震対策特別講習(16 日 於:県消防学校)
(大戸)原 増男分団長 受講
- 11 月 第 27 回中原区民祭
前年 好評だった消防団ブース設置
記念撮影に子供用防火衣(銀ガッパ)
「防災博士認定書」配布を行う。
消防車両 2 台展示し P R 活動する。
- 12 月 保安帽の分団名シールが配布され
以後、分団を判別しやすくなる。
- 平成 18 年(2006) 1 月 中原地区消防出初式
統一テーマ「災害に 備える心で まちづくり」のもと
中原消防署と中原消防団の主催で開催された。
- 3 月 中原消防団広報誌「翔太」創刊する。
- 6 月 第 35 回中原消防団消防大会(11 日)
操法は 16 年振りに丸子分団が優勝する。
- 7 月 女性団員応急手当普及員認定証を取得
(住吉)田口眞弓団員(住吉)小島幾代団員
(住吉)山中ふみ子団員
(丸子)石井克枝団員(丸子)白井京子団員
(大戸)織原勝代団員(大戸)関 弘子団員
- 中原消防団広報委員
(平成 18 年 2 月発足)
【本部】川野正久広報部長
【中原】鳩田敏行班長
三堀 武班長
【大戸】井上 武部長
鹿島秀樹団員
【住吉】安斎龍也団員
横山芳春団員
田口眞弓団員
【玉川】横山哲夫部長
若島 稔団員
高橋恒行団員
【丸子】石井 学班長
畠 昭仁団員



「翔太」は中原区の花パンジーをモチーフとした図柄で、消防団がこれからも太く羽ばたくという意味から名付けられました。各分団のポンプ積載車に翔太シールを貼り中原消防団を P R しています。又、翔太マーク入り T シャツを全団員に配布。夏季に消防団や地域の活動時に着用し団員の連帯感を高めている。



原 署長と内藤団長
出初式にて



心肺蘇生法研修

- 9 月 第 7 回川崎市消防団操法大会(10 日 於:三菱ふそうトラック・バス(株))
最優秀賞・大戸分団



大戸分団

- 指揮者 猪股昌美班長
一番員 名取聰嗣団員
二番員 橋之口泰央団員
三番員 市橋利彦団員

沿革

- 平成 18 年(2006) 10 月 中原分団小杉班小型ポンプ積載車更新配置(6日)
-  翔太の切手シート
11 月 第12回全国女性消防団員活性化群馬大会(1日於:前橋市)
11 月 (住吉)小島幾代団員(住吉)山中ふみ子団員 参加
11 月 消防団員指導員研修(7日~9日於:県消防学校)
(本部)生坂征一消防部長 受講
11 月 消防団員指導者講習(12日於:県消防学校)
(中原)西村和也班長(大戸)志村 守班長(住吉)三上能樹副分団長
(玉川)柳沢芳信班長(丸子)石井 学班長 受講
11 月 消防団幹部地震対策特別講習(21日於:県消防学校)
(住吉)小林敏一分団長 受講



上小田中班器具置場
開所式

- 平成 19 年(2007) 4 月 14代団長に大谷正勝が任命される。
- 4 月 中原消防署 24代署長 本田義雄氏就任
- 4 月 大戸分団上小田中班器具置場開所式(22日)
(上小田中 3-3-19)開所式後祝賀会を行う。
- 6 月 第36回中原消防団消防大会(10日豪雨)
- 11 月 中原消防団震災警防基本計画実施
- 11 月 消防団員指導員研修(6日~8日於:県消防学校)
(本部)川野正久消防部長 受講
- 11 月 消防団員指導者講習(11日於:県消防学校)
(中原)会澤高生班長(大戸)猪股昌美班長(住吉)鈴木照明部長
(丸子)野村謙二班長 受講
- 11 月 大谷団長 消防大学校第52期団長科入校(13日~21日於:消防大学校)
- 11 月 第13回全国女性消防団員活性化熊本大会(22日~23日於:熊本市)
(住吉)中山亜子団員 参加
- 11 月 消防団幹部地震対策特別講習(27日於:県消防学校)
(中原)遠藤芳廣分団長 受講
- 12 月 震災対応訓練実施(2日)

- 平成 20 年(2008) 1 月 中原地区消防出初式(8日 川崎市代表会場)
2 月 消防団幹部候補中央特別研修(20日~22日)
(大戸)関根順子団員 受講 於:日本消防会館



大谷団長 辞令交付式で



本田署長・阿部市長・大谷団長
出初式にて



- 3 月 自治体消防 60周年記念式典(7日於:日本武道館)
天皇皇后両陛下ご臨席のもと

消防庁長官より消防団地域活動表彰される。

大谷正勝 団長
田中 実 副団長
生坂征一 庶務部長
川野正久 消防部長
が出席。



- 3月23日 中原消防署新庁舎竣工披露
新庁舎(中原区新丸子東3-1175-1)にて行われ、大谷団長出席。
併せて 中原消防署宮内出張所及び玉川出張所が廃止となる。

沿革

- 平成 20 年(2008) 4 月 中原消防署新庁舎移転新築
団本部室設置された。
(消防署・ホテル複合施設 : SRC 造 21 階建
消防署は 1 階~4 階・5 階一部、延面積 3,094.94 m²)
- 6 月 第 37 回中原消防団消防大会(8 日)
- 7 月 中原消防署大型ポンプ車及びホース延長車訓練
(20 日 於: 三菱ふそうトラック・バス(株))
- 9 月 第 8 回川崎市消防団操法大会
(14 日 於: 三菱ふそうトラック・バス(株))
最優秀賞・大戸分団 中原消防団 2 度目の三連覇
- 9 月 消防団員募集の広報
東急バス車両・商店街・街頭放送で消防団員募集のテープが放送される。
- 9 月 制服用エンブレムが貸与される。
- 9 月 女性消防団員応急手当指導員資格を取得(川崎市女性団員初)
(住吉) 田口眞弓団員(大戸) 織原勝代団員
(丸子) 石井克枝団員(丸子) 白井京子団員
- 10 月 消防団分団長研修(15 日~16 日 於: まとい荘)
(住吉) 三上能樹分団長 受講
- 10 月 消防団員指導員研修(29 日~31 日 於: 県消防学校)
(本部) 小島光儀広報部長 受講
- 11 月 消防団協力事業所表示制度表示証交付式
- 11 月 消防団員指導者講習(15 日 於: 県消防学校)
(中原) 三堀 武班長(大戸) 松原則富班長(住吉) 鳥海信明部長
(玉川) 山川栄一班長(丸子) 藤枝康利班長 受講
- 11 月 消防団幹部地震対策特別講習(27 日 於: 県消防学校)
(大戸) 布施行雄分団長 受講
- 12 月 大戸分団上小田中班小型ポンプ積載車新配置(10 日 9:00~運用開始)
- 12 月 消防団員幹部候補研修(11 日~12 日 於: まとい荘)
(中原) 安藤直明班長 受講
- 平成 21 年(2009) 1 月 中原地区消防出初式(7 日)



中原消防団より新庁舎へ寄贈
「旧中原消防署」垣内宣子画伯



大戸分団

指揮者 内藤正美副分団長
一番員 国友英壯団員
二番員 高橋則広団員
三番員 原 正俊団員



制服用エンブレム



幼稚園での救命救急講座
テレビの取材を受ける



上小田中班新配置の積載車
中原消防団全器具置場に
車両が配置され9台になる



消防部隊整列



演技後の園児へ記念品

沿革

平成 21 年(2009) 2 月 リエトコート武蔵小杉イーストタワーにて大規模な消防訓練を行う。(26 日)



新はしご車で救助訓練



山口署長

2 月 新城駅前商店街において防火パレードを行う。(28 日)

4 月 団員募集ポスター

広報委員が中心となり作製、モデルは各分団 1 名
職業の服装と制服で撮影する。



4 月 中原消防署 25 代署長 山口高広氏就任

5 月 第 38 回中原消防団消防大会 (31 日)

映像・写真撮影、記録として重要な作業を
丁寧に行う広報委員も消防を支える。

10 月 消防団分団長研修 (13 日 於: 県消防学校)

(丸子) 倉形 昇分団長 受講

11 月 消防団員指導員研修 (4 日~6 日 於: 県消防学校)

(本部) 横山秀彦広報部長 受講

11 月 第 15 回全国女性消防団員活性化岡山大会 (5 日~6 日 於: 岡山市)

(住吉) 田口眞弓団員 参加

11 月 震災対応訓練 (15 日 於: 多摩川河川敷)

長距離送水訓練、チェーンソー等の
資機材取扱い訓練を行う。

11 月 消防団幹部地震対策特別講習

(19 日 於: 県消防学校)

(住吉) 田邊昌美副分団長 受講



震災対応訓練 177名参加

11 月 玉川分団平間班小型ポンプ積載車更新配置

11 月 フーディアム武蔵小杉合同消防訓練 (13 日)

11 月 消防団員指導者講習 (21 日 於: 県消防学校)

(中原) 石井貞明班長 (大戸) 原 孝三班長 (住吉) 前田則和部長

(玉川) 野口芳正班長 (丸子) 矢口正人班長 受講



正副消防団長OB会 20周年事業の「金の纏」



映像撮影
鹿島秀樹 広報委員



写真撮影
若島 稔 広報委員



平間班の新積載車

11 月 「金の纏」伝達式 (30 日 於: 署講堂)

平成 20 年度川崎市消防団操法大会優勝の大戸分団に授与される。

12 月 消防団幹部候補研修 (15 日 於: 県消防学校)

(大戸) 猪股昌美班長 受講

沿革

平成 22 年(2010) 1月 中原地区消防出初式 (7 日)



1月 D I G (災害図上訓練) 訓練

自分の町を知り、防災意識の向上をはかる
各中学校で実施される。

2月 ザ・コスギタワー消防訓練 (28 日)

中原分団宮内班小型ポンプ積載車更新配置



3月 15代団長に 田中 実が任命される。

4月 第39回中原消防団消防大会 (13 日)

6月 消防団幹部研修 (26 日 於:県消防学校)

(住吉)秋山直敏部長 受講

7月 中原分団宮内班器具置場開所式 (4 日)

(中原区宮内 2-26-39 に移転新築)



7月 第47回神奈川県消防操法大会 (27 日 於:神奈川総合防災センター)

丸子分団が出場し優良賞 指揮者 藤枝康利班長

8月 中原消防団幹部研修会 (24 日 於:JA セレサ川崎 中原支店)

講師:川崎市消防局長 福元幸徳氏

8月 田中団長 消防大学校第59期団長科入校 (29日~9月2日 於:消防大学校)

9月 第9回川崎市消防団操法大会 (12 日 於:三菱ふそうトラック・バス(株))

大戸分団、丸子分団が出場。

10月 消防団分団長研修 (12 日 於:県消防学校)

(玉川)福田忠夫分団長 受講

11月 消防団員指導員研修 (17 日~19 日 於:県消防学校)

(本部)布施行雄警護部長 受講

11月 消防団員指導者講習 (20 日 於:県消防学校)

(中原)安藤直明班長 (大戸)朝比奈清一班長 (住吉)金子正夫部長

(玉川)若島 稔班長 (丸子)鈴木基弘班長 受講

12月 消防団幹部候補研修 (6 日 於:県消防学校)

(住吉)鈴木敏一班長 受講

12月 消防団幹部地震対策特別講習 (10 日 於:県消防学校)

(玉川)戸田 進副分団長 受講

12月 バルーン型投光器 (22 日)

大戸分団上小田中班、住吉分団木月班に配置



平成 23 年(2011) 1月 中原地区消防出初式 (7 日)



2月 消防団幹部候補中央特別研修 (8 日~10 日 於:日本消防会館)

(大戸)名取聰嗣団員 受講

沿革

平成 23 年(2011) 3 月



読売新聞 平成 23 年 3 月 12 日

東日本大震災

3 月 11 日(金)14 時 46 分 東北地方太平洋沖地震発生

【震源】三陸沖(北緯 38 度 6 分 12 秒、東経 142 度 51 分 36 秒)

【震源の深さ】24 km 【規模】マグニチュード 9.0

この地震により起きた大津波は太平洋沿岸を襲い 甚大な被害をもたらし、被災地では活動中の消防団員 254 名が犠牲になった。

川崎市では最大震度…震度 5 強(川崎区) 中原区…震度 5 弱

市内 33% が停電、電車は不通・運転見合わせ、市内全域道路渋滞、帰宅困難者多数、エレベーター閉じ込め事故多発、携帯電話繋がりにくい、この状態が翌日まで続いた。

中原消防団は広報誌「翔太」第 12 号(平成 23 年 7 月 15 日発行)で、震災時の団員の活動、地域での出来事などを集約し掲載。その一部を紹介します。

【丸子分団】帰宅後すぐに器具置場に参集・電話が使えずバイクで個別に連絡を取る・本部に伝令要員を送るのが遅れた・次第に団員参集し待機する・周辺地域では火災、災害、事故等なし・停電、断水なし・携帯電話が繋がらず通信手段に苦労した・帰宅困難者へ道案内やトイレ、公衆電話、休める場所等の問い合わせに対応・停電で自動ドアが開かず自宅に入れないとの相談あり・臨時避難所として町会会館を知らせた・災害発生時の対応を再考し団員一同に周知徹底が必要・消防団活動時の停電対策・長時間活動への対策・必要な資機材を器具置場に配備する事が重要《佐藤正義 分団長》

私は消防団員、民生委員、町会防災部長をやっている・発災直後から町内の現状把握をした・町内会館を開放・担当の災害時要援護者の状況確認行う・停電地域のお年寄りが 4 名会館へ・小学校に避難していた家族 4 組が会館へ・帰宅困難者受け入れ・町会より握り飯と味噌汁を提供する・まもなく停電が解消・遠方の人は宿泊した・町会役員宅から寝具を持ち寄る・止まない余震に不安を感じ眠れず・翌朝朝食をとて無事に帰って貰いました・後日お礼状等いただきお役に立ったことをうれしく思っています《石井 学 副分団長》

【玉川分団】信号機が停電し警察官の指示で通行・近所の団員で声をかけ参集・器具置場から 1/3 程車両を出し消防車を見せた・中原街道と綱島街道への道案内が多くかった・通行人のトイレ利用が多くかった・下沼部班器具置場前の公衆電話が無料だとしらせる大勢の方が使用・平間班に荔宿出張所へ待機命令あり団員 4 名が出向いた《集約：野口芳正 部長》

【中原分団】発災直後宮内班班長の気転により分団の無線機を分団幹部へ配る・川崎市震度 5 強の報道あり(後に中原区 5 弱と判明)中原消防団規定により器具置場へ参集、警戒にあたる・仕事、外出中で参集できない団員多数・伝令員が団本部室へバイクで向かう・宮内班器具置場から国道 409 号(府中街道)を小杉方面行くが渋滞・歩行者が多く慎重な運転を心掛けた・宮内班器具置場周辺では停電なし・小杉方面に進むにつれ宮内の一部と府中街道沿いの小杉地区の一部が停電、信号機も停止・歩行者、自転車の方の道路横断等多くより一層の徐行運転・団本部到着し現状報告・無線を常備、団本部から器具置場へ戻る前に分団へ無線連絡するが繋がらず・無線の中継地点(アンテナ)の必要性を感じた・等々力緑地では街路灯が停電、人の姿さえ判別できず危険と感じる・ソーラーパネル付の街路灯が望ましい《坂西利秋 班長》

【大戸分団】震災前は温室で仕事中・震災時は家族と共に畑に避難・搖れが収まり家の損傷を確認・小学校から帰宅途中の子供の迎え(妻)・信号機が消えたため町内会の人たちと交通整理(小学校の下校時間が終わるまで)・消防団待機のメール確認、フル装備で上小田中器具置場に集合・その後小田中出張所に移動・団本部の解散指示(一部分団車両を残し)・その後上小田中にて火災出動指令あり出動する《松原則富 部長》

震災時は新城神社で発表会用餅づくり中・震災メールにて下小田中器具置場に参集、内藤浩由班長、名取聰嗣団員と警戒にあたる・電話連絡が取れず小田中出張所に移動し警戒にあたる《朝比奈清一 部長》

震災時は中原街道を車で走行中、信号が消え慎重な運転を心掛ける・自宅着(自宅兼店舗)停電あり、損壊被害

※階級は当時のもの

沿革

なし、家族全員の無事を確認・電話通じず上小田中班器具置場に参集・その後小田中出張所に移動・夕方一時帰宅、停電中・家族が余震に備え非常持出し品の準備を整えていた・小田中出張所に戻る・徒歩で帰宅する人々の列、道路渋滞に驚く・トイレを借りにくる人の多さにも・帰る方向が正しいか多くの人に聞かれる・夜9時過ぎ上小田中で火災連絡あり出動・11時半頃帰宅、家族全員普段着のまま寝る《原 孝三 部長》大田区の勤務先(病院)で勤務中に発生・消防団員としての活動はなし・患者、職員の避難誘導を行った後に建物、設備の点検復旧作業を行う・電車にて深夜帰宅《猪股昌美 班長》

【住吉分団】地震発生まもなく木月班器具置場に田邊分団長をはじめ分団幹部が参集し警戒にあたり、市ノ坪班器具置場にも部長、団員が参集。井田出張所には井田班が詰めて警戒にあたりました。その中で木月班器具置場に隣接する住吉小学校(石堂真理子 校長)への支援活動を分団長の指揮により金子正夫部長と石川 精部長を中心に行いました。その時の様子を青木教頭先生より次のように知らせていただきました。

【住吉小学校 青木利光 教頭】 揺れが大きくなつてすぐに放送で「地震です」と言った直後に電気が切れました。揺れが少しおさまった段階で3年生以上が運動場に避難を始め、運動場の中央に整列してもらいました。この時点で近隣の保護者が子供を迎えに集まり始め、地域の消防団の方も心配して運動場に来て下さいました。「何か困っていることは」という言葉に勇気づけられました。明るいうちに懐中電灯と暖房の確保を職員で手分けをして準備をしました。消防団の方が発電機を用意すると伝えてくれ体育館に投光器と共に届き体育館が明るくなつたため地域の方が避難してきました。また、ブレーメン通りの保育園とわくわくプラザにいた子供たちと職員の方々も避難して来られ、避難所として動かざる負えなくなり、消防団の方が災害用備蓄品(毛布、アルファ米)を今井中学校に取りに行ってくれることになりました。さらに消防団から大型の発電機が届き、照明と大型の石油暖房機動かすことができ、明るい体育館で寒さを凌げ、ひもじい思いをせずにすみました。消防団の方々の協力に改めて感謝します。



4月 中原消防団の義援金及び団員有志の義援金をおくる。

5月 旧型の活動服を集め宮城県気仙沼市消防団へおくる。

6月 第40回中原消防団消防大会(12日)

震災直後で開催を熟慮する、節電等求められる中効率よく訓練し大会を無事終了する。

8月 玉川分団下沼部班小型ポンプ積載車更新配置

10月 消防団分団長研修(11日於:県消防学校)

(大戸)天野宣雄分団長 受講

10月 消防団員指導員研修(21日~22日於:県消防学校)

(本部)三上能樹消防部長 受講

11月 第17回全国女性消防団員活性化香川大会(11日~12日於:高松市)

(住吉)田口眞弓団員 参加

11月 消防団指導者講習(19日於:県消防学校)

(中原)峯岸雅宏班長(大戸)佐藤雅章班長(住吉)秋山直敏部長

(玉川)叶谷勝則班長(丸子)畠 昭仁班長 受講

11月 川崎市女性団員発足15周年記念式典(20日於:中原消防署講堂)

「平成18年から救命講習のお手伝いをする事により、ようやく女性団員としての活動の場を確立したように思います。この15年間、数々の災害が発生し多くの団員が活躍されまた多くの方が活動中に亡くなりました。私たち消防団員は大きな責任と課題を背負い災害に備えた努力が必要だと思います。」【川崎市女性消防団員1期生丸子分団 石井克枝班長】

12月 消防団幹部地震対策特別講習(2日於:県消防学校)

(玉川)原 充功分団長 受講

12月 消防団幹部候補研修(5日於:県消防学校)(大戸)工藤由美雄班長 受講



心でつなごう 地域の輪

日時:平成23年6月12日(日)10時00分より
場所:等々力緑地公園隣接物広場
主催:中原消防団 協賛:中原消防署

大会ボスター

玉川分団 和泉誠一班長
(畠 昭仁 広報委員作製)



下沼部班の新積載車



女性団員1期生
石井克枝班長

沿革

平成 24 年(2012) 1月 中原地区消防出初式(7日) 「がんばろう!日本」



干支の引き継ぎ(大戸分団)

双腕作業機・アストコ
横断幕「がんばろう!日本」

1月



特別研修・大勢の団員が参加

中原消防団特別研修「震災を振り返って」(19日於:中原消防署講堂)
東日本大震災の体験を各分団1名が発表、被災地派遣の署員も発表する。
(警防統括担当課長)谷 芳之消防司令長 (警防第二課警防係)加藤 憲消防士長
(本部)三上能樹消防部長 (中原)石井貞明部長 (大戸)大場 隆班長
(住吉)金子正夫部長 (玉川)戸田 進副分団長 (丸子)石井 学副分団長
講評で田中団長は「3月11日の経験は決して忘れてはならないし、後世に語り継いでいかなければならないと思います。今一度振り返っていただいて、いざという時に消防団員として、力を発揮できるよう備えてもらいたい。」



小林署長
「恋チュン」中原消防団 Ver.
出演して下さいました

4月

中原消防署 26代署長 小林英木氏就任

4月

川崎市消防団MCA無線機〈可動式〉(1日より運用開始)

5月

団本部室及び各器具置場へ配置・分団長会議日に試験実施

国補助資機材として救命胴衣・浮輪各器具置場に配置

全団員に無線機、LEDヘッドライトが貸与される。

6月

第41回中原消防団消防大会(10日)

平成24年3月に等々力催し物広場に国旗掲揚

ポールが設置され、今回より使用する。

団旗は中原消防団OB会より寄贈される。

7月

海水利用型消防水利システム取扱い訓練

(於:多摩川ガス橋下流付近)

9月

防災訓練(所轄業務訓練)

(2日於:中原消防署及び各分団器具置場)

9月

第10回川崎市消防団操法大会(9日於:川崎市北部市場)

大戸分団、玉川分団出場。



LED ヘッドライト



国旗と団旗

10月

消防団分団長研修(9日於:県消防学校)

(丸子)佐藤正義分団長 受講

10月

消防団員指導員研修(12日~13日於:県消防学校)

(本部)田邊晴輝広報部長 受講

11月

消防団員指導者講習(18日於:県消防学校)

(中原)坂西利秋班長(大戸)小宮隆一部長(住吉)深谷賢司部長

(玉川)木村武三班長(丸子)松川正二郎班長 受講



大型動力ポンプ付消防車

11月

大規模救急救助訓練(25日於:ザ・クロスティシティサウスコートと周辺敷地)

12月

消防団幹部候補中央特別研修(3日於:県消防学校)

(中原)河野靖一班長 受講

12月

消防団幹部地震対策特別講習(16日於:県消防学校)

(住吉)田邊昌美分団長 受講



丸子分団
田中裕之部長
大高淳司班長

沿革

平成 25 年(2013) 1 月 中原地区消防出初式 (6 日) 「がんばろう！日本」願いをこめて元気に踊る！



平間幼稚園幼年消防クラブ



住吉高校チアリーディング部



干支の引き継ぎ (住吉分団・アンザイル)

- 2 月 中原消防団特別研修 (20 日 於:中原消防署講堂)
東日本大震災についての映像で研修を行う。
- 2 月 耐震ポンプ更新配置 本部、(中原)小杉班・宮内班、(住吉)市ノ坪班
- 3 月 川崎市青少年フェスティバル (17 日 於:等々力アリーナと催し物広場)
記念撮影用の子供用新防火衣(グリーン)も田中団長夫人の手作り。
- 3 月 バルーン型投光器 住吉分団市ノ坪班に配置
- 4 月 16 代団長に 生坂征一が任命される。
- 6 月 第 42 回中原消防団消防大会 (9 日)



生坂団長就任の挨拶

「我ら 中原消防団」
消防大会アトラクションで
東日本大震災復興支援曲
エグザイル「ライジング・
サン」にのって全分団より
50 名が参加し踊る。
分団同士の競争意識が高い
大会において、団員間の
「和」や「絆」を再確認す
ることができた行事。



- 6 月 消防団幹部研修 (17 日 於:県消防学校) (大戸)原 孝三部長 受講
- 7 月 港北消防団夏季訓練会視察 (14 日 於:鶴見川樽町公園)
- 8 月 生坂団長 消防大学校第 63 期団長科入校 (26 日～30 日 於:消防大学校)
- 8 月 川崎市総合防災訓練 (31 日 第 34 回九都県市県合同防災訓練川崎市会場)
【メイン会場】等々力緑地催し物広場…防災関係機関訓練
【サブ会場】井田中学校…地域活動型訓練、参加・体験型訓練
- 9 月 中高層建物立体的訓練 (23 日 於: J X 日鉱日石社宅)
- 10 月 消防団分団長研修 (7 日 於:県消防学校)
(中原)成瀬 朗分団長 受講
- 10 月 消防団員指導員研修 (11 日～12 日 於:県消防学校)
(本部)遠藤芳廣消防部長 受講
- 11 月 港北消防団・中原消防団合同防災講演会
(8 日 於:新横浜国際ホテル)
講師:長谷川祐子氏「大震災時どう動く?監督者編」
- 11 月 消防団員指導者講習 (17 日 於:県消防学校)
(中原)野口俊明班長 (大戸)工藤由美雄班長 (住吉)石川 精部長
(玉川)持田 浩班長 (丸子)佐藤 仁班長 受講



大戸分団・国友英壯団員



中高層建物立体訓練
団員・署員 90 名参加

沿革

平成 25 年(2013) 11 月 消防団 120 周年・自治体消防 65 周年記念大会 (25 日 於: 東京ドーム)



12 月 消防団幹部候補研修 (2 日 於: 県消防学校) (丸子) 松川正二郎班長 受講

12 月 伊豆大島土石流災害派遣報告会 (4 日・5 日 於: 中原消防署講堂)

12 月 消防団幹部地震対策特別講習 (13 日 於: 県消防学校)

(中原) 成瀬 朗分団長 受講

12 月 耐震ポンプ更新配置 (大戸) 下小田中班、(玉川) 下沼部班・平間班、丸子分団

平成 26 年(2014) 1 月 中原地区消防出初式 (12 日)

「催し物広場石碑除幕式」出初式に先立ち、等々力緑地

催し物広場と消防について記された石碑の除幕式を行う。

【催し物広場と消防】等々力緑地催し物広場は川崎市の消防出初式や消防訓練の場として市民に広く親しまれています

今日 防災対策の重要性が益々大きくなるなか この広場は地元の中原消防団の皆様の献身的なご尽力があり 永きにわたり川崎市を代表する消防訓練等の拠点になっています

平成 26 年 1 月吉日 川崎市消防局



2 月 警防技術確認訓練 (21 日 於: 川崎市消防総合訓練所) 住吉分団 参加

3 月 「恋するフォーチュンクッキー・中原消防団 Ver.」動画投稿サイト YouTube に中原消防団 P R と団員募集を目的に配信する。



構成、ダンス指導、撮影、編集などすべて団員の手で行いました。双腕作業機「アスタコ」も踊っています。



高嶋署長
大会アトラクション「恋チュー」
踊って下さいました

3 月 中原消防団幹部研修 (19 日 於: 中原消防署講堂)

講師: 中原消防団 8 代団長 中田 隆氏 「消防団幹部の心得」

4 月 中原消防署 27 代署長 高嶋 敏氏就任

5 月 全分団小型ポンプ積載車にデジタル無線受令機配置される。

6 月 第 43 回中原消防団消防大会 (8 日) 全員で「恋チュー」



カラーガードOG・伊藤さん



アトラクション盛り上げた DJ★サカニシ



丸子分団・山本喜道団員

沿革

平成 26 年(2014) 6月 広報活動の一環としてフェイスブックに中原消防団のページを公開し情報発信を開始した。

7月 バルーン型投光器 中原分団宮内班、大戸分団下小田中班に配置

8月 解体予定建物を使用した震災対応訓練 (30日 於:法政大学第二中学校)

9月 第11回川崎市消防団操法大会 (7日 於:川崎市北部市場)
丸子分団と住吉分団が出場。



解体建物震災対応訓練

10月 消防団員指導員研修 (10日～11日 於:県消防学校)
(本部)原 充功広報部長 受講

11月 第20回全国女性消防団員活性化千葉大会
(14日～15日 於:浦安市)



市ノ坪班の新積載車

(丸子)石井克枝班長 (丸子)白井京子班長 受講

11月 消防団員指導者講習 (16日 於:県消防学校)
(中原)渡邊 保班長 (大戸)大場 隆班長 (住吉)福岡秀雄部長

(玉川)和泉誠一班長 (丸子)田中照雄班長 受講

11月 港北消防団第五分団との合同訓練 (16日 於:鶴見川新矢上橋東側)

12月 消防団幹部候補研修 (1日 於:県消防学校) (玉川)野口清一団員 受講

12月 住吉分団市ノ坪班小型ポンプ積載車更新配置 (4日)

12月 消防団幹部地震対策特別講習 (21日 於:県消防学校)
(丸子)佐藤正義分団長 受講

平成 27 年(2015) 1月 中原地区消防出初式 (11日)

2月 警防技術確認訓練 (15日 於:中原消防署) 中原分団と大戸分団が参加

2月 消防団分団長研修 (16日 於:県消防学校)

(玉川)加藤譲司分団長 受講

3月 第67回日本消防協会定例表彰式

(10日 於:日本消防会館)

日本消防協会会长表彰

表彰旗(平成26年度)を受ける。

表彰の選考理由として規律厳正にして技能熟達、かつ各般施設を充実し、平素よく消防使命の達成に努めたその成績は抜群な消防団である。



神奈川県消防功労者表彰式で披露

3月 第8回 階段駆け上がりレース 川崎大会

(14日 於:パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー)

(大戸)国友英壯団員 (住吉)宮崎慎也団員

(大戸)小泉徳浩団員 (大戸)松浪健太団員 出場

松浪団員が消防団男子の部で優勝。また多くの

団員がスタッフとして大会運営をサポートした。

中原消防団・港北消防団合同上級幹部研修会

(23日 於:中原消防署講堂)

講師:広島市安佐南消防団 副団長 平田信夫氏



チーム中原のメンバー



住吉分団
操法競技と小隊訓練

4月 17代団長に 小島光儀が任命される。

5月 第44回中原消防団消防大会 (31日)

6月 消防団幹部研修 (15日 於:県消防学校) (玉川)横溝秀喜班長 受講